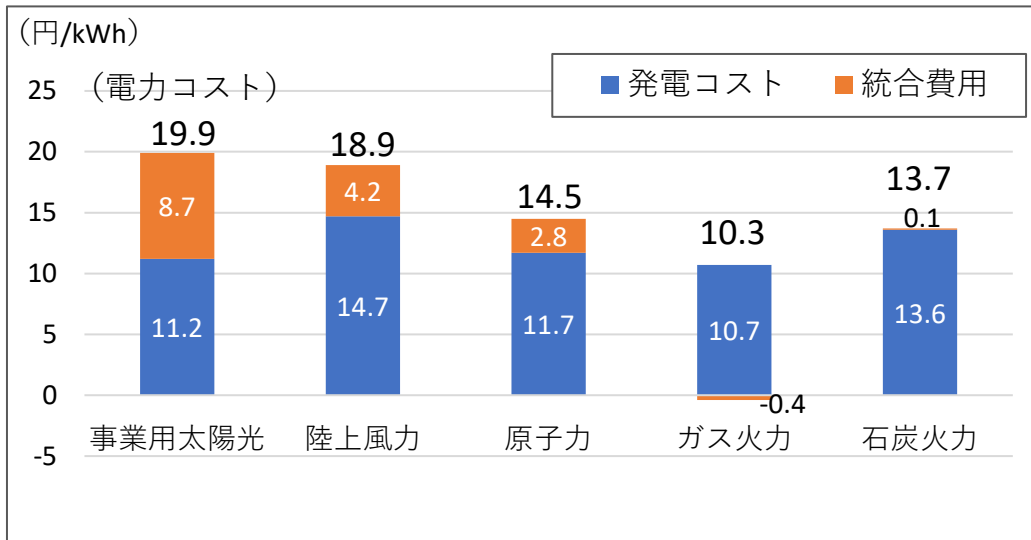


Ⅲ-3-④電源別の電力コスト(発電コスト+統合費用の合計)

電力コストは、それぞれの電源で発電する場合の直接コストに加え、その電源を送電線に繋ぎ、安定的に電力を供給するためのコストが、別途、必要です。

例えば太陽光発電を増加させる場合、同時に火力発電の起動停止費用や揚水発電のロス等が増加します。これは、夜間や雨の日等であっても、安定的に電気を供給するためのコストとして必要不可欠なものであり、これを統合費用と言います。

従って、太陽光発電の場合は、発電コスト(11.2円/kWh)と統合費用(7.7円/kWh)の合計が電力コスト(18.9円/kWh)となります。



出典: 発電コスト検証WG報告書 P4

電源別の電力コスト(発電コスト+統合費用の合計)